

科目名		会社法(Corporations Act)							
学年	学科(コース)	単位数		必修/選択	授業形態	開講時期	総時間数		
第4学年	経営情報学科	学修	1単位	選択	講義	前期 100分/週	45時間		
担当教員		【常勤】 田川 晋也							
学習到達目標									
科目の到達目標レベル	平成18年度4月1日から施行されている会社法について学ぶ。この講義では、その中でもコーポレート・ガバナンス、コーポレート・ファイナンス、組織再編の3点に重点を置いて解説する。								
学習・教育目標	(C)①	JABEE基準1(2)			(d)-(f)				
関連科目, 教科書および補助教材									
関連科目									
教科書	「会社法入門」宍戸善一(日本経済新聞社)								
補助教材等	プリント(演習問題)								
達成度評価(%)									
評価方法 指標と評価割合	中間試験	期末・学年末試験	小テスト	レポート	口頭発表	成果品	ポートフォリオ	その他	合計
	総合評価割合	40	40		20				100
知識の基本的な理解 【知識・記憶、理解レベル】	◎	◎		◎					
思考・推論・創造への適用力 【適用、分析レベル】	○	○		○					
汎用的技能 【論理的思考力】	○	○		○					
態度・志向性(人間力) 【 】									
総合的な学習経験と創造的思考力 【 】									
学習上の留意点および学習上の助言									
この科目は、企業を法的な視点から考察するものである。経済学、経営学、会計学等との企業間の相違を意識して学習すること。また、法的な独特な言い回しなどになれること。									

授業の明細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	0 ガイダンス 1 会社の種類 ・会社の定義、持分会社	<ul style="list-style-type: none"> ・シラバスから学習の意義、授業の進め方、評価方法を理解できる。 ・会社という事業形態のメリットを理解できる。 ・各持株会社の構成員の権利、義務、責任の相違を理解できる。 	(予習) どのような場面で適用できるかを理解すること (復習) 課題や授業終了後の練習問題にて理解すること。
2			
3	2 機関 ・取締役 ・株主総会 ・監査役	<ul style="list-style-type: none"> ・機関の分化について理解できる。 ・代表取締役の権限について理解できる。 ・取締役会の役割について理解できる。 ・取締役の義務について理解できる。 ・株主の権利について理解できる。 ・株主総会の役割について理解できる。 ・取締役をモニタリングする制度を理解できる。 	(予習) どのような場面で適用できるかを理解すること (復習) 課題や授業終了後の練習問題にて理解すること。
4			
5			
6	3 株式	<ul style="list-style-type: none"> ・株式の種類、株式単位について理解できる。 ・株式の譲渡について理解できる。 ・自己株式について理解できる。 	(予習) どのような場面で適用できるかを理解すること (復習) 課題や授業終了後の練習問題にて理解すること。
7			
8	中間試験		
9	答案返却・解答解説 4 資金調達 5 配当	<ul style="list-style-type: none"> ・試験問題の解説を通じて間違った箇所を理解できる。 ・新株発行、社債の発行について理解できる。 ・新株予約権について理解できる。 ・配当規制について理解できる。 	(予習) どのような場面で適用できるかを理解すること (復習) 課題や授業終了後の練習問題にて理解すること。
10			
11			
12	6 設立・解散 7 組織再編	<ul style="list-style-type: none"> ・会社の設立の流れを理解できる。 ・会社の解散・清算について理解できる。 ・合併、会社分割の手続きについて理解できる。 ・株式交換、株式移転について理解できる。 	(予習) どのような場面で適用できるかを理解すること (復習) 課題や授業終了後の練習問題にて理解すること。
13			
14			
	期末試験		
15	答案返却・解答解説 授業改善アンケートの実施	<ul style="list-style-type: none"> ・試験問題の解説を通じて間違った箇所を理解できる。 	
総学習時間数			45時間
講義			25時間
自学自習			20時間